

株式会社青山製作所製造本部の事業適応計画のポイント

令和5年1月17日

- カーボンニュートラルへの取り組みを従来の製造中心の省エネ活動ではなく全社課題と位置づけ活動しており、「見える化」と「減らす化」によるCO₂排出量削減に取り組んでいる。
- 「見える化」では、工程別エネルギー使用量の把握や、代表機種エネルギー使用量の解析によるCO₂排出量の多い構成品・材料の明確化などに取り組んでいる。「減らす化」では、生産技術の開発・導入を通じた省エネ活動や太陽光といった再生可能エネルギーの利活用、日常改善活動による省エネ化などに取り組んでいる。
- 本計画では、省エネルギー熱処理炉を導入することで、製品製造時のエネルギー効率性を向上させる。また、2種類の自家消費型の太陽光発電設備（野立・屋上）を導入することにより、使用電力の一部を再生可能エネルギーによる自家発電に切り替える。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和5年2月～令和6年12月

2. 生産性向上目標

関工場で炭素生産性を26.4%向上させる。

3. 前向きな取り組みの内容

省エネルギー熱処理炉を令和5年度（計画初年度）と令和6年度（計画2年度）に1台ずつ導入し、旧型の炉と比較してLPG消費量を1台あたり16%削減する。また、自家消費型太陽光発電設備（野立・屋上）を導入し、購入電力量を削減する。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<関工場の外観>



<省エネルギー熱処理炉の外観>

